

倶知安の景観づくりに関するお知らせ

景観計画（案）のパブリックコメントを実施しています

倶知安町では、将来の豊かな暮らしにつながる魅力ある景観づくりのため、来年1月に策定予定の「景観計画（案）」についてパブリックコメントを募集しています。

今年2月に募集した素案に対するパブリックコメントのご意見や関係する公共機関との調整を踏まえ、修正した内容としております。

■期間：2022年10月17日（月）～11月7日（月）

■公表場所：役場まちづくり新幹線課（2階）
もしくは町ホームページ

提出方法など詳しい情報は、右のQRコードの町ホームページからご確認ください。



ニセコ地域の景観を考えるシンポジウムが開催されました



テーマ「無電柱化と創る景観資源～磨き・活かし・繋げる 世界へ誇れる景観資源へ～」と題されたシンポジウムが9月30日（金）にオンライン開催されました。

景観を専門とする先生や地域計画家を招き、無電柱化やこの地域の景観とまちづくりの方法についてパネルディスカッション形式でご意見をいただきました。土地利用や公共施設のデザイン、住民参加など様々な視点からアドバイスをいただいております。オンラインのリアルタイムでは、約160名の方が視聴されていました。

◆シンポジウムのお話を一部紹介します



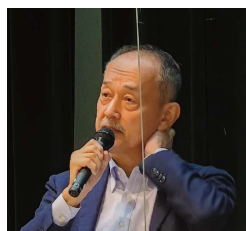
篠原 修 氏

どこの地域にも言えることだが、観光地だからといって「おもてなし」を一番に考えるのではなく、「自分たち（住民）がこのまちで楽しむ」ことが大切。



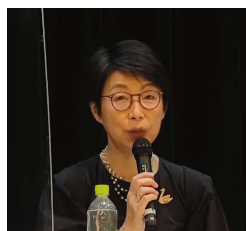
小林 潔司 氏

人には「（住む場所を）選択する権利」、「（地域に）根ざす権利」があり、ワインの産地・フランスのボルドーのように住民が地域にこだわりや誇りを持つことが大切。



屋井 鉄雄 氏

これから無電柱化をするところは狭い道路が増えてくるため、地上機器を民地に置かせてもらうなど、将来のことを考えて皆で取り組むことが大切。



佐々木 葉 氏

お金を払って見せるような景観をつくるのも良いが、日常生活で交流できる小さな施設や広場をつくり込むことが「長く住みたい」という地域愛を育むことに繋がる。



萩原 亨 氏

ニセコひらふエリアは既に大きく変化してきているが、昔の姿を心の故郷にしている方も多いため、歴史が残る山（スキー場）であってほしい。



大庭 哲治 氏

コストがかかるため、簡単に電柱を消すことは出来ない。より良い景観にしていくには、より効果が得られる場所などをよく議論することが大切。



高尾 忠志 氏

福岡市では、「花を植えてみたい人」と「活動を応援したい人」をマッチングさせる「一人一花運動」がある。こんな仕組みがあるとより良い景観に繋がる。

現在もオンラインで視聴することができます。右のQRコードよりご覧ください。



ニセコ地域の景観を考えるシンポジウム

検索

くっちゃん景観だより

第10号 2022年11月発行

お問い合わせ/発行者 倶知安町まちづくり新幹線課景観室
TEL 0136-56-8012 FAX 0136-23-2044 E-mail: keikan@town.kutchan.lg.jp

“固定式”から“取外し式”へ 夏スッキリ！

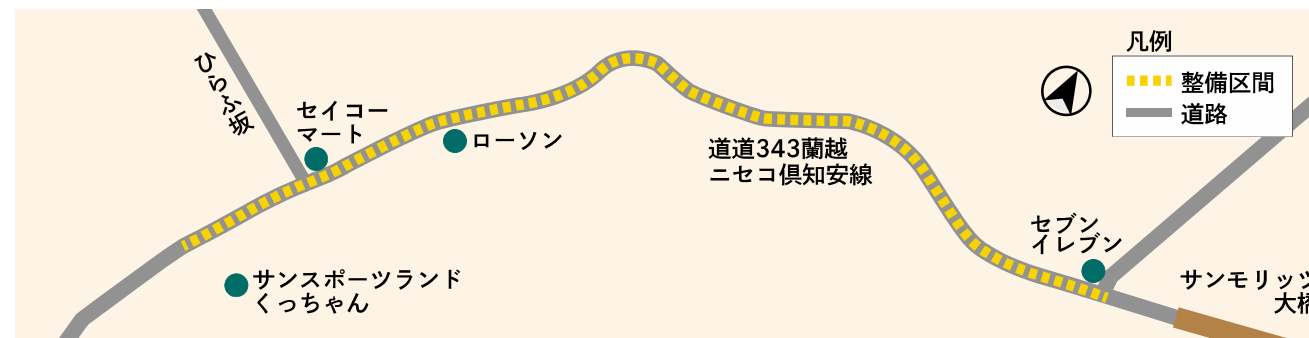
道道343蘭越ニセコ倶知安線において、今年8月、地上機器に固定されていたスノーポールを“取外し式”にしました。今からちょうど3年前のG20観光大臣会合を1つのきっかけとして無電柱化をした区間ですが、地域の方から「せっかく無電柱化をしてリゾート地としての景観が良くなったのに、スノーポールが1年中あるのは残念。」というご意見をいただいたため、取り組みました。

整備の内容



スノーポールを“取外し式”にしたのは、セブンイレブンのあるニセコひらふ4条1丁目の丁字路からサンスポーツランドくっちゃんまでの2.1kmの区間です。全部で83本のスノーポールを整備しました。

地上機器は壊れると周辺地域の電気が止まるなどの問題が起きるため、冬のスノーポールは重要な役目を担っていますが、夏は景観を乱してしまいます。写真のとおり、スッキリして景観が改善されました！



スノーポールってなあに？

雪が積もる地域に設置されるものです。目立つよう赤と白で表示したものが多く、長さ3～4mのものを使用しています（倶知安のは他の地域よりも長い！）。どこまでが道路かを示す目印であり、冬にはなくてはならないものです。



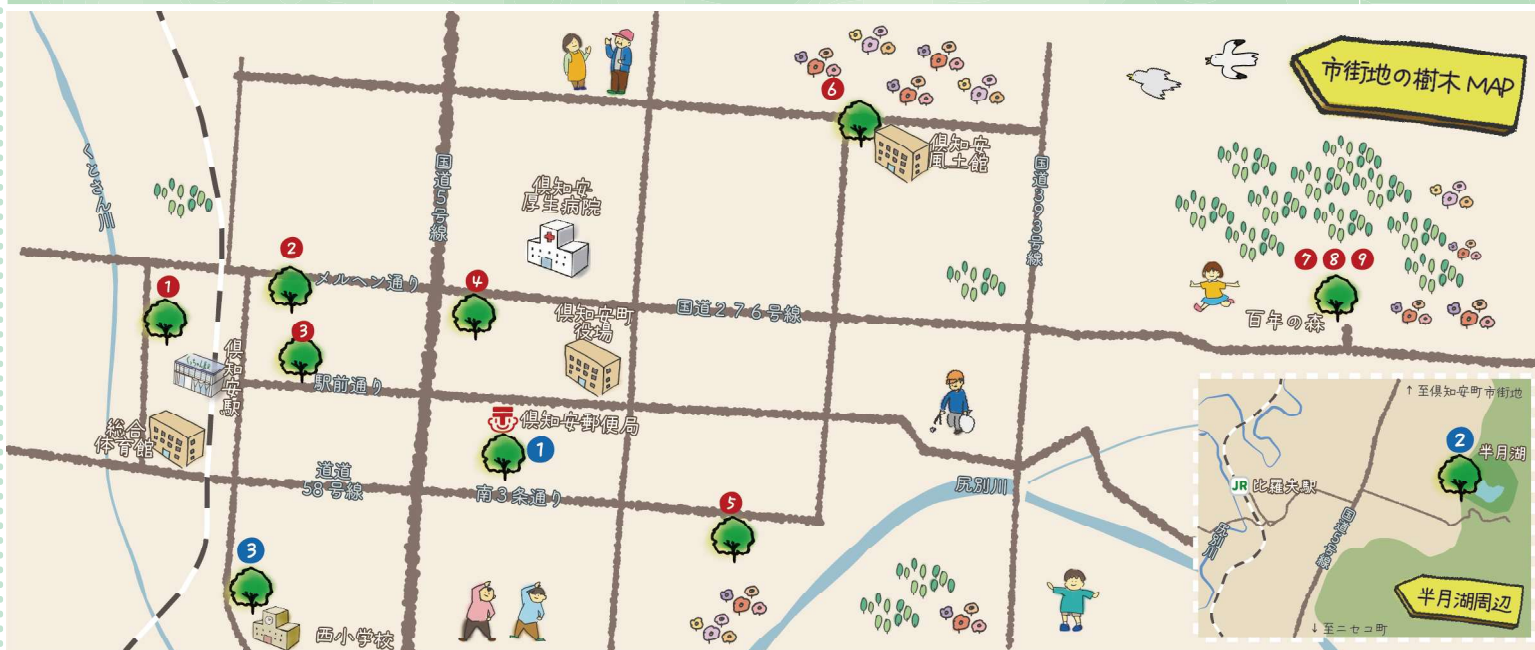
地上機器ってなあに？

電線を地下に埋設するとき必要です。各建物に電気を送るため電圧を下げたり、分岐させる装置で、今回紹介した区間の地上機器の大きさは、幅110cm・奥行65cm・高さ135cmで、景観に配慮したこげ茶色をしています。



倶知安は緑豊かな町ですが、どんな木が生えているかご存じですか？
今回は、町民の方に意外と知られていない(!?) 木の種類や葉の特徴にスポットを当てて紹介します。

倶知安にゆかりのある木



▶ 樹種 **イタヤカエデ** 在来種

▶ 葉の特徴
深めに4つの切れ込みが入っており、カエルの手のような形になっている。秋は黄色になる。

▶ エピソード
・倶知安町の町木に指定されている。
・南児童館前にあるイタヤカエデは、歩道工事の際に切り倒されるのではなく、根の形に合わせて舗装工事が進められ、今では100年以上も倶知安の子どもたちを見守っている木。



▶ 樹種 **ミズナラ**(別名:オオナラ) 在来種

▶ 葉の特徴
葉の根元が細く、くさび形になっている。葉のフチは大きくギザギザしている。

▶ エピソード
半月湖にあるミズナラは、羊蹄山登山道の1つである「倶知安ひらふコース」を開拓した、かつての「蝦夷富士登山会」の事務所の横にあった木です。樹齢は300年を超えていて、幹周は5mもあり、長年倶知安町を見渡してきた木。



▶ 樹種 **イチイ**(別名:オンコ) 在来種

▶ 葉の特徴
細い形で、枝を挟んで左右2列に並んで生える。

▶ エピソード
西小学校にあるイチイは、1987年に開校した際、旧比羅夫小学校より、転校してきた木です。昔から現在もずっと町の子どもたちを見守っている木。イチイは、よく「オンコの実」と呼ばれる赤い実をつけますが、西小学校の卒業生は、食べたことがあるかもしれませんね！

倶知安で見られる木



▶ 樹種 **プラタナス** 外来種

▶ 葉の特徴
掌のような形で、15cmくらいの大きさがある。



▶ 樹種 **エンヤマザクラ** 在来種

▶ 葉の特徴
きれいな楕円形で、先端がスッと細くなっている。



▶ 樹種 **トチノキ** 外来種

▶ 葉の特徴
6枚ほどの葉が集まったように見える。大きいものは40cmにもなる。



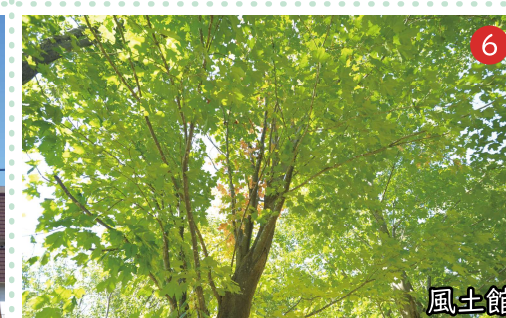
▶ 樹種 **イチョウ** 外来種

▶ 葉の特徴
扇のような形で、真ん中に切れ込みが入っている。秋は黄色くなる。



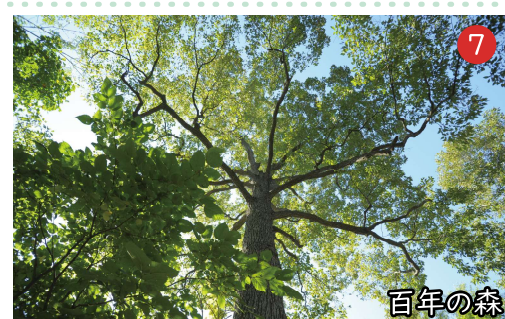
▶ 樹種 **ナナカマド** 在来種

▶ 葉の特徴
細長い形で、先端の方はギザギザが深い。秋は赤くなる。



▶ 樹種 **サトウカエデ** 外来種

▶ 葉の特徴
カナダの国旗にシルエットが使用されている。



▶ 樹種 **ハンノキ** 在来種

▶ 葉の特徴
細長い卵のような形で、浅くギザギザしている。先端が飛び出ている。



▶ 樹種 **ヤチダモ** 在来種

▶ 葉の特徴
細長い卵のような形で、先端が細く飛び出ている。緩くギザギザしている。



▶ 樹種 **ドイツトウヒ** 外来種

▶ 葉の特徴
細い形で、先端が尖っている。断面はひし形に見える。

トチノキは在来種ですが、豪雪の倶知安では人の助けがないと育たないそうです。ヤチダモ、ハンノキは、倶知安開拓前からずっとある木だそうですが、調べてみると意外にも町外から来た木が多かったですね！驚きです。今回、このページは「風土館の小田桐さん」と「百年の森の宮崎さん」と一緒に作成しました。